

オーデコートGエコ

■特長

- 揮発性有機化合物量(VOC)が非常に少なく、室内環境に配慮した水性塗料です。
- 水性塗料特有の仕上がり後の粘着感が気になりません。
- 藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- 防火材料認定を取得しています。

JIS K 5663 1種 合成樹脂 エマルジョンペイント	5分つや有り 3分つや有り つや消し
-------------------------------------	--------------------------

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。
JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

■用途

一般住宅、学校、幼稚園、託児所、介護施設、病院、ホテル、オフィス、レストラン、食品工場などの建物内部のコンクリート・モルタル・ボード類や鉄部、木部など

■基本性能

つや調整品は JIS K 5663 1種、合成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。

試験項目	規格	5分つや有り・3分つや有り・つや消し
		JIS K 5663 1種 試験結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない	合格
低温安定性(-5℃)	変質しないものとする	合格
表面乾燥性	常温乾燥2時間以内で表面乾燥する(23℃、50%)	合格
	低温乾燥 4時間以内で表面乾燥する(5℃)	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
隠ぺい率% (白および淡彩)	93以上	合格
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格
屋外暴露耐候性	12か月間の試験で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格

■塗料性状

塗料名	色相	つや ※	容量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
オーデコートGエコ	各色※1	7分つや有り※2 5分つや有り、3分つや有り つや消し	15kg 4kg	水道水	0~10	0.13~0.15	はけ、ウールローラー エアレスプレー

※1 つや消しは淡彩色のみ。 ※2 7分つや有りも調色可能ですが、JIS品ではありません。

標準塗装仕様

工程	塗料名	塗り回数	使用量 ^(注) (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	被塗面のごみ、ほこりを除き、清浄な下地とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト:0~10 透明:無希釈	はけ、ウールローラー
			0.12~0.16				エアレススプレー
上塗り	オーデコートGエゴ (7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り・つや消し)	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

鉄部

下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去する。油脂分、水分は溶剤拭きを行い清浄な面とする。						
下塗り	水性ハイボンプライマー	1	0.13~0.16	4時間以上 7日以内	水道水	0~5	はけ、ウールローラー
上塗り	オーデコートGエゴ (7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り・つや消し)	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※上記の数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。

(編み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
※カATALOGに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されており、特別な環境が想定される施工現場、部位に塗られる場合は、事前に必ず当社までご相談いただきますようお願いいたします。
(注) 塗料塗装/不燃(準不燃・難燃)材料の施工仕様につきましては、「塗り付け量」が基準となります。
「塗り付け量」とは被塗面単位面積あたりの塗料量(希釈する前)の付着している重量のことであり、「使用量」とは意味が異なりますのでご注意ください。
・「水性カチオンシーラー」の塗り付け量は、0.09kg/m²/回です。
・「オーデコートGエゴ」の塗り付け量は、0.10kg/m²/回です。

コンクリート・モルタル用下塗り塗料

水性カチオンシーラー透明、水性カチオンシーラーホワイト、水性透明シーラー、水性ホワイトシーラー、水性シミ止めシーラーII

鉄部用下塗り塗料(さび止め)

水性ハイボンプライマー、ハイボンファインプライマーII、1液ハイボンファインデクロ、(使用するさび止め塗料の肌の違いにより、上塗り塗装後の)エスパーワンエース (外観・光沢感に若干の差異が生じる場合があります。)

木部下塗り塗料

水性ウッドベースII、1液ファインウレタンU100木部下塗り

施工上の注意事項 ●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめします。
- 暑熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用し「高断熱型外壁」に、旧塗膜が弾性リシン、弾性スチック、アクリルトップコートなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、暑熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なること、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最善の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが現れないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。
- つや調整品は使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしなからご使用ください。
- 防藻・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗面に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭きかき、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いしてください。作業効率の低下および強風の原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- JIS K 5663 1種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- 繊維壁、耐火被覆用酸性カルシウム板、ロックウールなどの非常に弱い素材には塗装できません。
- 水点下で貯蔵すると凍ります。凍らないよう5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着障害をおこすおそれがあります。
- 風化面(吸込みシーラー、ニッパフインパーフェクトシーラー(新)、ニッパ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッパフインパーフェクトシーラー、ニッパフインパーフェクトシーラー)を塗るときは、塗料の乾燥時間をご確認ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地の吸込み箇所がある場合はその部分を増量してください。
- シーリングの上、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗面に十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面に十分乾燥させてから塗装してください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗面の養生を行ってください。
- 塩化ビニルクロスのはけ、めくれ、浮きなどは接着剤が貼り付け、ローラーで圧着し、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスに接着剤が低下している場合、塗装することでクロスが浮きやすくなる場合がありますので、クロスのはけやめくれなどはあらかじめ接着剤などで押さえおくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツク科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツク科学社製HI5000シリーズ・コンクリートノンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において集水や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地塗料(ニッパ1材チオンプライマー、ニッパ1材ファイバー#200)などで処理してください(合成樹脂エマルジョン(注)の使用は避けてください)。
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物

検索



カタログ

NP-C120

SS240725H
2024年7月現在